



# 関中央ロータリークラブ

## 2018-2019 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：関市池尻 91-2  
 事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278  
 会長 波多野篤志 副会長 古田博文 幹事 吉田和也 クラブ会報委員長 塚原康寿

2018~2019年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ  
**「自ら行動するロータリーへ！」**



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1975回例会 2019年5月23日(木)  
 卓話 国際ロータリー第2630地区 職業奉仕部門委員長 山本 和彦様  
 テーマ 「わかりやすい職業奉仕」 / 担当 職業奉仕委員会

前例会の記録 第1974回 2019年4月25日(木)  
 「C. A 地区研修・協議会報告」  
 担当 次期会長・幹事

\*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

\*会長あいさつ 波多野篤志会長

皆さんこんばんは。本日は、先日行われました、2019年地区研修・協議会の報告と成っています。後程担当者からの報告がありますが、私なりの感想を少し述べたいと思います。



4月14日(日曜日)に、三重県の総合文化センターで行われました。朝9時に関のバスターミナルに集合し、長良観光バスにて、美濃ロータリークラブと合同で行きました。当クラブの参加者は、12名です。今までは、道中の高速道路が渋滞するため、余裕をもって出発しましたが、新名神が開通した為か、スムーズに進行し、早く着きすぎました。三重県も普通に行けるようになった印象です。会場の総合文

化センターは、どこかの大学のキャンパスかと思うような立派な建物でした。関市にもあのくらいの設備があると良いなと思いました。昼食は、弁当でしたが、入れ物は良さそうでした。中身は普通です。全体的には、経費を抑えられ、コンパクトにやっている印象でした。(あくまでも個人の感想です。)

研修は、13時より、辻ガバナーエレクトの点鐘により始まりました。国歌・ロータリーソング斉唱。黒川ホストクラブ会長の歓迎の言葉。辻ガバナーエレクトの挨拶・特別出席者紹介。三藤次期地区代表幹事による次期ガバナー補佐及び地区委員長紹介。この地区の次期ガバナー補佐は、各務原中央ロータリークラブの深瀬清さんです。木村ガバナーの地区現況報告と刃田ガバナーノミニーと浦田ガバナーノミニーデジグネートのご挨拶がありました。

第1セッションは辻ガバナーエレクトの講話で、「次期RIテーマと地区活動方針」のお話です。次期RIテーマは、「ロータリーは世界をつなぐ」ROTARY CONNECTS THE WORLD”です。地区テーマは、

「総天然色」です。すべてのロータリアンが（総）、それぞれの空の下で（天）、しっかり思いを込めて行動（然）、それぞれの色を醸し出す（色）だそうです。

地区活動目標は、

- ・組織の維持を考えた会員増強と拡大  
（ロータリーをなくさないために）
- ・ロータリー財団に対する理解の増進  
（世界でよいことをするために）
- ・青少年プログラムへの積極参加  
（未来のロータリアンのために）
- ・国際ロータリー及び国際ロータリー会長賞への挑戦  
（今の活動評価のために）です。

第2セッションは、分科会です。私は、次年度会員増強委員会なので、そちらの分科会に行きました。何か今後のヒントでも得られないかと思い参加しました。山本委員長のお話で、「会員増強・維持・退会防止に向かって」お話が有りました。ロータリーとは、利他の心を養うところである。入会1~2年で辞めないようにするため、入会前に会員としての責務やロータリーをしっかりと教えることが必要。地区の活動に参加してもらうことが大切である。女性会員を入れると雰囲気が変わるので、推奨します。会員増強は、会員全員でやらなければいけない。会員増強委員会は、5人体制の委員会を作ってやると良い。と言われました。5月25日の会員増強研修会には、もう少し内容の濃い話を期待したいと思います。

その後16時30分から閉会セッションです。次期開催地ホストクラブ発表及びホストクラブ会長挨拶です。今回は、高山で高山中央ロータリークラブの開催です。その後、岡田パストガバナーの感想・会長研修修了書授与・三藤次期地区代表幹事の閉会挨拶・辻ガバナーエレクトの点鐘で終了しました。次年度の地区大会は、三重のサオリーナで開催されます。大勢の会員の参加をお願いしましてご挨拶とします。

#### \*C. A 地区研修・協議会報告

##### ○後藤 政之会員

4月14日、地区研修・協議会が三重県総合文化センターで行われ、参加してきました。当日は美濃RC



の方々とバスで会場に向かいました。予定より30分ほど早く会場に到着し、昼食を取り、開始を待ちました。午後1時より開会セッションが始まり、国歌・ロータリーソング斉唱の後、たくさんの方が挨拶される中で、木村ガバナーのお話で、この地区研修・協議会の意義とは、1.各クラブの奉仕活動の紹介、2.ロータリーの理念の再確認、3.各クラブの基盤の活性化と活動の充実とお話されていたのが印象に残りました。

続いて第1セッションでは、辻ガバナーエレクトが「次期RIテーマと地区活動方針」についてのお話がありました。地区テーマは「総天然色」、すべてのロータリアンが（総）、それぞれの空の下で（天）、しっかり思いを込めて行動し（然）、それぞれの色を醸し出す（色）という意味が込められたテーマでした。

第2セッションでは、各分科会に別れて行われました。新会員の私は研修情報・職業奉仕分科会に参加しました。ここでは、ロータリークラブの成り立ちや目的、職業奉仕の意味、ロータリー活動・例会を充実させるための実例の紹介等ありました。ロータリーは様々な職業人の集まりであり、それぞれの職業が社会を形成するものである。自分の仕事を通じて人々のお役に立つことを目指していく。それによって家族、仕事の仲間も幸せになる。そういった精神を学ぶ場が毎週行われる例会なのだということがわかりました。この例会で学んだことをまた職場や家庭、地域社会に活かしていく。常に循環しているのだと思いました。

今回初めて参加させていただき大変勉強になりました。もし私が間違ったことを言っていたら、先輩方にご指導頂きたいと思います。ありがとうございました。

##### ○川上勉次期クラブ研修リーダー

##### 第2セッション

研修情報・職業奉仕・新会員分科会に出席しました。研修情報・クラブ研修リーダーについて報告いたします。

私の担当の分科会の委員長は岡田パストガバナーです。委員長の挨拶入れて10分程の分科会でした。



10 分の分科会の内容と自分で調べた事項について報告します。皆さんご存知の通り次年度からクラブ研修リーダー制度が発足いたしました。国際ロータリー理事会はクラブレベルでのロータリー研修を強化・充実するために、2006 年 11 月理事会連合にて決定 104 号で、各ロータリークラブに「クラブ研修リーダー」の任命を推奨しました。

#### クラブ研修リーダーの任命・任期・資格要件・任務及び責務

1. 任命 クラブ会長エレクトが、次年度のクラブ研修リーダーを 1 名任命する。他の役職と兼任も可
2. 任期 クラブ研修リーダーの任期は、1 年であり、連続で就任できる任期は 3 期までとする。
3. 資格要件 研修・教育の技能を持ったパスト会長、理事会メンバー、ロータリー情報委員長が望ましい。
4. 任務及び責務

①クラブ内の包括的研修プランを作成し、実施・監督する。

包括的プランとは

※クラブ指導者が、適宜 地区研修会議に出席する。

※新会員のために一貫したオリエンテーションを定期的に実施する。

※現会員のために継続的教育の機会を提供する。

※全会員が指導力育成プログラムを受けることができるようにする包括的プランだそうです。

②クラブ研修リーダーは、すべての研修ニーズが満たされるようにクラブ理事会及び各委員会と協力する。

③支援とアイデアを得るために、地区研修委員会、ガバナー補佐、ガバナーと協力する。

④クラブ会員の指導力（リーダーシップ）を開発することで、職業における日々の仕事を充実させ、将来のクラブ指導者を育成する。ために「クラブ指導育成セミナー」を計画する。

R I の推奨されるクラブ指導育成プランのテーマは以下 10 項目だそうです。

1. コミュニケーションの技能
2. リーダーシップのスタイル
3. 奉仕活動を指導し、動機付ける方法
4. 個人（メンター）指導

5. 時間管理
6. 目標の設定と責任の分担
7. 長期計画の立案
8. 倫理と四つのテスト
9. 合意（コンセンサス）の構築
10. チームワーク

次年度 関中央 R C の推奨テーマは以下の 6 項目とされます。

1. クラブの奉仕活動ビジョン（あるべきクラブ像）づくり
2. 地域の皆さんにロータリーを理解して頂くための効果的な広報活動の模索
3. 国際奉仕・新世代奉仕プログラムの推進  
（台北南隆 R C と連携奉仕・景文高校と関商工の交流）
4. ロータリー財団のプログラムの推進  
（環境保全と食育奉仕活動）
5. 奉仕理念、職業奉仕  
（職業を通しての奉仕活動）
6. 地域の状況把握  
（防災協力、災害復旧活動支援等）

育成セミナー主催者

クラブ研修リーダー、クラブ会長、ロータリー情報委員長が主催し、セミナーの方法等は、地区の卓話・研修出前サービスを活用する。

#### ○小川糧司次期社会奉仕・

##### 環境保全委員長

社会奉仕委員会と国際奉仕委員会の合同の分科会の報告をします。

社会奉仕委員会は、以前私が所属

の時には環境保全委員会とっていましたが、現在は社会奉仕委員会とって範囲が広がって、何をみんなに訴えたらいいのかわかなくなっています。今年のスローガンは

- ①ロータリーの精神をもって社会をよりよくしよう
- ②地域の環境を良くしよう
- ③自然災害への対応を考えよう
- ④次世代の青少年に芸術 地域文化の機会を与えよう
- ⑤生活弱者に配慮を



となっています。これらの目標はすでに各クラブで実施中のことなので、委員会で各クラブにアンケートをとって、具体的な内容を210例ほどまとめてくれました。その内容はロータリーのホームページに公開されているので見て下さい。当クラブも長良川流域連携クリーン作戦、里山森林整備などが掲載されています。他クラブでは圧倒的に植樹が多いようです。際立っているのか、鈴鹿ベイが行っている鼓ヶ浦海岸の羽衣並木復活と題して、24年に渡り35000本の黒松の苗を植えて松林を復活させて、松の木から松脂をとって鈴鹿の習字の墨づくりを復活させようという気の長い取り組みがあります。

国際奉仕委員会では、グローバル補助金を使用して、海外の新興国のロータリークラブと共同の事業の紹介がありました。これは地区のみんなが一人200円を拠出、約64万円の予算です。昨年は美濃加茂RCがベトナムの学校に、パソコン24台、難聴の子の為に補聴器1台120万円の事業報告がなされました。ベトナムから日本へ就労に来る子供がパソコンを使えたらいいのではないかと、パソコンを寄贈し、現地でその設定と使い方を指導してきたとのことでした。

もう一つグローバル補助金というのがありますが、それは新興国のロータリークラブと地区同士が連携をして、識字率の向上とその地域の生活水準を高めるためのプログラムです。条件はまず、この2630地区と相手国のRC地区の共同であること。また地区同士の2つ以上RCの共同プロジェクトであること。今回の事例発表では、美濃加茂RC、多治見リバーサイドRC、鈴鹿ベイRCと地区国際奉仕小委員会の4つから各11万円、地区財団活動資金165万円、2630地区から合計175万円を元に、タイの3360地区、3350地区から42万と現地の14RCから314万円、全部足して950万円の資金でタイの88の小学校に書籍(絵本)を750万円分寄贈、教育用教材を175万円分、教員研修に10万円程が贈られた。1クラブたったの1000ドルで、これだけの事業が出来るのでぜひ他クラブもとのお話ですが、お金ではなく、この準備に相当の労力と時間がかかっていることを考えるととても大変なことだと思います。地区の国際奉

仕小委員会で相手国とテーマは紹介すると言われました。以上、私の地区研修報告は終わります。次年度のガバナーは辻正敏さん(鈴鹿シティRC)なのですが、この方の感想は非常に弁達者な方で地区の盛り上げが期待できるのではと思います。一昨年の剣田ガバナーが次々期のガバナーをされるとの発表が最後にあり、意欲的にやってもらえそうで、地区大会では、参加者全員で市中大行進をやりますとの発表がありました。

#### \*出席委員会

会員数32名、本日の出席19名です。

#### \*ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事

地区研修・協議会に出席された方、ごくろう様でした。本日の発表担当の方、よろしくお願ひします。

・森 敬君

先日は女房の誕生日にクラブから虎屋さんのお菓子を頂きました。ありがとうございました。結婚して27年経ちますが、私は一度もプレゼントなどした事はないので、それはそれは喜んでいました。

18名のご投函ありがとうございました。

#### \*幹事報告

・訃報の報告です。郡上八幡RC 和田詠伸様のご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

#### <次例会の案内>

第1976回 2019年5月30日(木)

卓話 岐阜新聞 中濃総局長 長瀬 勝巳様

テーマ 「新聞よもやま話」

担当 社会奉仕委員会